

授業科目 病態と診療Ⅲ (1) 消化器	区分・教育内容		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 進藤 吉明 (中通総合病院)	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	16 時間 / 30 時間
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護師が果たす役割を学ぶ。			
授業の目標 1. 病因と病態の特徴を理解する。 2. 系統別の病態・症状・治療・検査について理解する。 3. 内視鏡検査・治療と偶発症について理解する。			
授業概要 消化器疾患の範囲は広い。それだけに将来看護師としてどの診療科に配属されようとも必ず遭遇するのが消化器疾患である。ここでは主な消化器疾患について、①その症状、病態検査、治療、②内視鏡検査・治療およびそれに伴う偶発症とその予防を学ぶ。各疾患の基本的な事項を理解するだけでなく、看護師として果たす基本的な役割を理解していただきたい。			
授業計画 (進め方) 以下の項目を全 8 回の講義で学ぶ。 1 回目 消化器疾患の症状と病態 2 回目 消化器疾患の検査と治療、偶発症とその予防 (内視鏡検査を中心に) 3・4 回目 上部消化管疾患 5・6 回目 下部消化管疾患 7 回目 肝疾患 8 回目 膵・胆道疾患 3～8 回目は、それぞれ代表的な疾患について治療を含めて学ぶ。また、看護師として患者さんとどう接するか、ということに関し、レポートを提出していただく予定である。			
テキスト 新体系 看護学全書 専門Ⅱ 消化器 メヂカルフレンド社			
参考書・指定図書 病気がみえる vol. 消化器 第 5 版 メディックメディア			
評価の方法 試験、授業中の演習 (口述も含む) 病態と診療Ⅲ100 点満点中の 50 点			

授業科目 病態と診療Ⅲ (2) 内分泌・代謝	区分・教育内容		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 松田 大輔 (中通総合病院)	開講時期	単位	時間数
	中期	1 単位	8 時間 / 30 時間
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護師が果たす役割を学ぶ。			
授業の目標 1. 病因と病態の特徴を理解する。 2. 系統別の病態・症状・治療・検査について理解する。			
授業概要・授業計画 (進め方) 一般的な講義を 1 時間行う。 理解を深めるために看護師国家試験問題を使用してミニテストを行い解説を行う。			
1 回目 内分泌・代謝器官の構造と機能についてその仕組みが分かるように説明するとともに、 内分泌代謝疾患に必要な検査について説明し理解する。 2 回目 代表的な代謝疾患として糖尿病を取り上げ、その疾患概念、治療方法、合併症について 説明し理解する。 3 回目 代表的な内分泌疾患として甲状腺疾患を取り上げ、その疾患概念、治療方法、合併症に ついて説明し理解する。 4 回目 その他の内分泌代謝疾患について最小限必要な知識を整理する。			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 医学書院			
参考書・指定図書 糖尿病治療の手びき 2017 改訂第 57 版 南江堂			
評価の方法 筆記試験 (看護師国家試験問題など) 病態と診療Ⅲ 100 点満点中の 30 点			

授業科目 病態と診療Ⅲ (3) 血液・造血器、アレルギー膠原病	区分・教育内容		
	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 渡辺 新 (中通総合病院) 藤原 崇史 (中通総合病院)	開講時期	単位	時間数
	後期	1 単位	6 時間 / 30 時間
授業の目的 系統別の病態・症状・治療・検査について理解し、看護者が果たす役割を学ぶ。			
授業の目標 1. 病因と病態の特徴を理解する。 2. 系統別の病態・症状・治療・検査について理解する。			
授業概要 日常の看護実践の中で比較的多く接する疾患の理解を深めることを主眼として、以下の疾患を中心に説明する。			
授業計画(進め方) 1 回目 血液の成り立ちと機能 白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫 2 回目 アレルギー反応とその機序 アレルギー疾患の病態 3 回目 膠原病の病態			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ アレルギー膠原病・感染症 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 病態と診療Ⅲ100 点満点中、血液・造血器疾患 10 点、アレルギー膠原病 10 点			